

2014年度の労働災害発生状況

○ 2014年度の当社国内グループにおける労働災害発生件数は5件で、休業災害はありませんでした。増加原因としては、保護具の未着用、手順書の不備、教育の不徹底であり、災害の特徴としては、5件中4件が切れ擦れによる災害でありました。

2014年度より、安全教科書を作成し、繰り返し教育の強化を進めており、危険に対するさらなる意識向上に取り組めます。

2014年度の取り組み

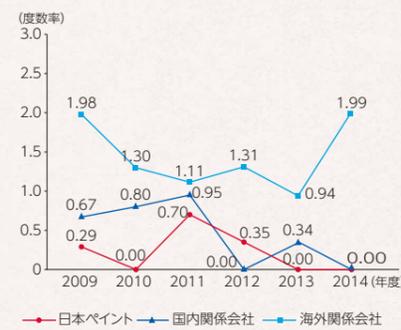
○ 2014年度は、2013年度の継続として、安全防災課長会議、安全衛生委員会を通じた安全衛生活動を実施しました。また、リスクアセスメント推進のための部会を設立し、月に1回の開催を実施しました。

しかしながら、2014年度は2件の発火事故が発生しました。そのため、労働災害に特化していたリスクアセスメントを、火災や漏洩といったリスクについても評価できるように評価基準の見直しを行い、各工場でのリスクの再評価を実施しました。

休業災害度率の推移



日本ペイントグループの休業災害度率の推移



日本ペイントの安全理念

1. 安全なくして会社の繁栄なく、会社の繁栄なくして社員の幸せなし
 2. 安全は企業活動の基盤であり、優れた業績の前提である
 3. 安全管理の出発点は、人間愛と責任感にある
 4. 安全管理の基本は、災害の未然防止と予防管理である
 5. 防止できない人災はない。全ての人災はゼロにすることができる
- ※ここでいう安全とは衛生、防災、無公害を含めた広義のものを指す



安全な職場環境を確保することは、企業活動にとって最も重要なことです。

当社では以前から独自の安全理念のもとに全社で積極的な安全活動を実施しています。

労働安全衛生

安全教育活動

○ 2013年度より開始した新入社員フォローアップ研修を2014年度も引き続き実施しました。新入社員研修の受講者は35名です。

フォローアップ研修では、ヒヤリ報告書の作成や自職場での危険な箇所の抽出などを事前課題として研修当日に持ち寄り、グループで議論を行い、ルールや感受性を向上させることの重要性の教育を実施しました。実際の危険な箇所については、研修終了後、自職場に持ち帰って対策と結果報告を指示しました。さらに、研修最後に各人が行動目標を宣言しました。

フォローアップ研修のアンケートでは、全受講者より「危険に対する感受性が向上した」との回答を得ました。今後も安全に対する理解の向上について推進していきたいと考えています。

また、中堅社員には安全指導が実行できる人材育成、新任基幹職には安全配慮義務の習得を目的とした研修をそれぞれ実施しました。

- 顧客への静電気安全講習・有機溶剤講習・防火安全講習
- 販売店・特約店の新入社員教育
- 販売店・特約店への安全・環境教育
- 資格取得教育

【新入社員研修風景】



フォークリフト危険体感講習

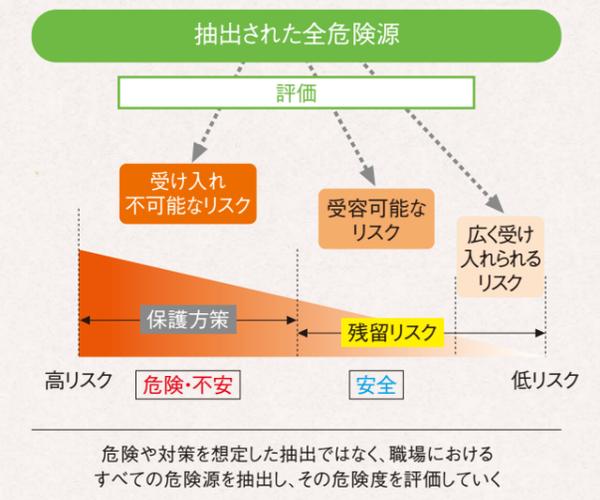
海外関係会社への安全環境支援活動

○ 当社グループの海外拠点への安全支援活動として、2014年度も引き続き「海外安全巡回」を開催しました。

この「海外安全巡回」は、1978年度から実施しており、2014年度は立邦塗料の成都、上海、天津、広州工場の安全巡回を実施し、ヒヤリングと現場巡回で安全活動状況の把握を行いました。

操業リスクに関わる静電気対策、設備管理、挟まれ巻き込まれ防止対策等に不備が認められたので、真因追求から始め、順次対策を進めております。2015年度においても引き続きモニタリングを実施して海外拠点の安全操業を推進します。

リスクに基づく安全の考え方



危険予知トレーニング講習

リスクアセスメント活動

○ 現場における危険予知だけでなく、環境保全、労働安全、保安防災まで含めたリスクをいったん洗い出し、受け入れ可能かどうかを判断するリスクアセスメント活動を2011年度に開始しました。

定常作業については、2013年度末までに、すべての工場でリスクアセスメントを実施完了しました。

2014年度においては、地区間での標準化、ヒヤリ報告のRA展開、リスクIV対策、火災及び漏洩リスクの抽出について主に進めました。リスク評価基準を改正し、労働災害に直結するリスク評価だけでなく、火災や漏洩リスクが抽出できるようにしました。